



【今週の暗唱聖句】 I テサロニケ 5 : 16-18

「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。

すべての事について、感謝しなさい。これが、キリスト・イエス
にあって神があなたがたに望んでおられることです。」

「いつも、絶えず、すべての事」ということは、苦しみ、逆境、困難な状況にあったとしても、なお「喜び、祈り、感謝する」ということを意味しています。ですからこの聖句を実行している人がいるとしたら、その人は少々頭がおかしいか、それとも、人が知らない人生の秘訣を持っている、ということになります。ローマ 8 : 28 に

神を愛する人々、すなわち、神のご計画に従って召された人々のためには、神がすべてのことを働かせて益としてくださることを、私たちは知っています。

さらにヤコブ 1 : 2-4 に

私の兄弟たち。さまざまな試練に会うときは、それをこの上もない喜びと思いなさい。信仰がためされると忍耐が生じるということ、あなたがたは知っているからです。その忍耐を完全に働かせなさい。そうすれば、あなたがたは、何一つ欠けたところのない、成長を遂げた、完全な者となります。

さらに I ペテロブ 1 : 7 a は

信仰の試練は、火を通して精練されてもなお朽ちて行く金よりも尊いのであって、イエス・キリストの現われのときに称賛と光栄と栄誉に至るものであることがわかります。

クリスチャンは神を「天のお父様」と呼ぶ特権に与っている人ですから、人生で遭遇する全ての事柄はその天のお父様がちゃんとコントロールしてくださっていることを知っています。ですから

- 1) 耐えることができない試練には会わないこと (I コリント 10:13)
- 2) 試練は霊的成長、人格の発達には必要不可欠であること
- 3) 苦難や困難は、同じ状況にある多くの人々に仕え、慰めることができるようになるための訓練と経験を提供する場であること
- 4) 神が最終的に全て帳尻を合わせてくださり、大きな喜びが待っていること

を知って、期待して歩むのです。その時、苦難や試練から逃げる生き方ではなく、勇気を持ってどんな境遇にも立向かい、喜びと感謝をもってあらゆる状況を受け止める生き方ができるようになるのです。■



【先々週のメッセージ】ヨナ書

「お魚に食べられた人のはなし」

●敵国アッシリアの首都ニネベに悔い改めのメッセージを運ばなければならなかった預言者ヨナは神の命令に逆らい、タルシシュ行きタルシシュの船に乗るが、途中大嵐に遭遇、大魚に飲まれ、結局、神の命令から逃げられずに仕方なくアッシリアに向かった。予想と大きく異なり、ニネベは身分の最も低い者から最も高い者まで、ヨナのメッセージに心迫られ、灰をかぶって悔改めた。

●ニネベの滅亡を求めているヨナはへそを曲げ、それでも神はニネベを滅ぼしてくれるのではと期待して待つ。神は一夜にして唐胡麻のツルを彼の仮小屋のためにはやし、彼のために快適な日よけとして下さるのだが、快適と思っていた唐胡麻を一瞬にして枯らし、さらに焼く陽射しと熱風でヨナを苦しめた。ヨナが不平不満をぶちまけたときに、「あなただって唐胡麻を惜んでいるだろう。わたしだってニネベが人々が惜しいのだ」と一言、ヨナを諭された。

●ヨナ書には5章がない。これはクリスチャン一人一人に対するチャレンジとして受け止めることができる。私たちに与えられている神の言葉、聖書にはすべての罪人を救う力が込められており、神は私たちが全世界に出て宣教するようにと、聖霊までくださる。私たちはこの宝をひとりじめしておくのだろうか。それとも、人々の救いのために用いるのだろうか。

私たちはどんなヨナ書5章を書くのでしょうか？



【今週の英語】

Proclamation Appointing a National Fast Day **March 30, 1863 Abraham Lincoln** (抜粋)

・・・ it is the duty of nations as well as of men, to own their dependence upon the overruling power of God, to confess their sins and transgressions, in humble sorrow, yet with assured hope that genuine repentance will lead to mercy and pardon; and to recognize the sublime truth, announced in the Holy Scriptures and proven by all history, that those nations only are blessed whose God is the Lord. ・・・

国家および人の義務とは何か。それは全領域における神の支配権への自らの依存を認め、真実な悔い改めのうちには恵みと赦しがあるとの確信のもと、謙遜な悲しみをもって罪と違反とを告白することであり、聖書により宣言され、全歴史を通し証明されている崇高な真理、つまり「主」を神とする国家のみが祝福されうるということを認識することである